

別紙3. 評価基準表

ア. 第1次審査（書面審査）

(1) 企画提案書等を提出した提案者が3者を超える場合は、提出された企画提案書等について、評価基準に従い書面審査を実施する。

(2) 第1次審査の結果、点数が上位の3者に対し、第2次審査（プレゼンテーション）を行うものとする。提案者が3者以下の場合は、第1次審査を省略し、企画提案書等を提出した全ての提案者を第2次審査の対象とする。

(3) 第1次審査及び第2次審査において、各評価項目の点数は、5段階評価【5.4.3.2.1】で行う。

特に優秀	優秀	普通	やや不足	不足
5	4	3	2	1

(4) 第1次審査の点数は、第2次審査に引き継がないものとする。

評価基準表

評価項目	評価の着目点	評価点	傾斜配分	配点
実績	過去に同種業務又は類似業務の実績があり、事業の遂行が期待できる経験を有しているか	1, 2, 3, 4, 5	×2	10
業務実施体制	配置予定の業務管理者の情報及び支援員の配置人数や支援回数等が明記され、業務を遂行するにあたり十分な体制となっているか	1, 2, 3, 4, 5	×1	5
業務の理解度等	教育の情報化におけるICT活用の必要性や課題などについて、簡潔に整理されており、業務に対する理解や考え方などが明記されているか	1, 2, 3, 4, 5	×3	15
			合計	30

別紙3. 評価基準表

イ. 第2次審査（プレゼンテーション）

評価基準表

評価項目	評価の着目点	評価点	傾斜配分	配点
1. 業務に対する理解及び考え方や意欲	1-1 教育の情報化におけるICT活用の必要性や課題など業務の理解は十分あるか	1, 2, 3, 4, 5	×2	10
2. これまでの実績	2-1 これまでの実績等が具体的にあり、本業務を遂行するに足る実績を有しているか	1, 2, 3, 4, 5	×2	10
3. 業務実施体制	3-1 業務管理者や支援員は、資格、実務経験年数、実績を有しているか	1, 2, 3, 4, 5	×1	5
	3-2 業務に必要な人員を常時欠くことなく、業務を安定的に実施することができる体制が見込めるか	1, 2, 3, 4, 5	×2	10
4. 業務内容	4-1 業務を着実に遂行するため、配慮事項や創意工夫などの提案はあるか	1, 2, 3, 4, 5	×1	5
	4-2 学校におけるICT活用の支援方法について、技術的知見・経験等を基にした独自の提案はあるか	1, 2, 3, 4, 5	×2	10
	4-3 児童生徒の情報活用能力や学力向上のため、ICTをより効果的に活用する独自の提案はあるか	1, 2, 3, 4, 5	×2	10
5. 学校支援体制	5-1 各学校へ巡回訪問する支援員の人数や回数は仕様書以上であり、学校訪問回数が最大となる提案となっているか	1, 2, 3, 4, 5	×3	15
	5-2 学校へのサポート体制（教員への研修含む）は、有益かつ効果的な内容・体制の提案となっているか	1, 2, 3, 4, 5	×2	10
6. 総合所見	6-1 本業務の質を高める創意工夫や意欲がある提案内容となっているか	1, 2, 3, 4, 5	×3	15
				合計 100

<第2次審査における提案者の順位の決定及び最低基準点の設定>

- 提出された企画提案書等を評価基準表に基づいて評価し、委員の採点の結果、点数の高い候補者を「3点」、次点を「2点」、3位を「1点」とし、各委員の順位点を合計した結果、合計点が最も高い者を受託候補者とする。
- 上記1の順位点の合計が同点となった場合は、次の方法により順位を決定する。
 - 評価項目「6-1」の点数が高い者を上位とする。
 - 上記の(1)も同点の場合は、評価項目「5-1」の点数が高い者を上位とする。
- 最低基準点は、各委員の評価点の平均点60点とする。なお、60点に満たない場合は、応募が1者であっても選定を見送る場合がある。